

ななくり

藤田保健衛生大学七栗サナトリウム広報委員会編集 発行人 園田 茂
〒514-1295 三重県津市大島町4-2-4番地-1 電話 059-252-1555 (代表)
ホームページ <http://www.fujita-hu.ac.jp/HOSPITAL4/> F A X 059-252-1383

藤田保健衛生大学七栗サナトリウム内科の着任にあたって

内科教授 松本 美富士

平成18年2月1日付けをもって藤田保健衛生大学七栗サナトリウム内科の再編成・再開のミッションを受けて着任しました。これまで地域と連携した高齢者医療を実践し、実績をあげてきましたが、内科医師教員の移動により、残念なことに一時期内科の診療機能が事実上停止し、地域の皆様、医師会会員の先生方に大変ご迷惑をおかけしました。しかし、新たな内科医師教員の人選の努力がなされ、名古屋市立大学医学部第二内科学講座(現大学院医学研究科臨床分子内科)から派遣の準備がすすめられ、今回の内科の人選が実現することとなりました。本年4月1日から内科3名体制でスタートすることができました。新体制の内科スタッフの専門性、および当院の医療提供設備・環境、立地条件から以下の3つのミッションをもって七栗サナトリウムの内科診療体制を整えて行きたいと考えております。この3つのミッションを一つずつ実行・実現するためには地域の皆様、医師会の皆様方のご理解とご支援によってなされるものです。どうかよろしくお願い申し上げます。

内科の3つのミッションとは以下のものです。一つは、当院の大きな特色である回復期リハビリ入院患者様、および外科緩和ケア患者様の内科合併症、内科的問題発生時の対応です。この機能の付加によって当院の2つの特色である回復期リハビリ医療、緩和ケア医療が充実したものとして遂行できるものと考えております。第二のミッションは地域と密接に連携し、医療・介護・福祉制度を活用した継続的高齢者医療の実践です。これは当院内科の先輩によって築き上げ

られたものであり、また、当院の設備・環境(リハビリ、療養病床、デイケア、介護支援など)の資源を最大限に利用しこれを発展させるものです。そして第三のミッションは私の専門領域であるリウマチ診療の新たな構築です。すなわち、三重県のリウマチ診療の現状、当院の医療設備・環境を考慮して当院が三重県の慢性期リウマチ診療の一つのコアを形成することです。すなわち、リウマチ性疾患の教育、治療導入および評価入院です。これには大きな努力が必要です。リウマチ友の会、膠原病友の会、あるいは行政を含めて三重県下各地域医師会との強い連携のもとで行うことが必要です。この3つのミッションを実現するために、皆様方のご支援を頂いて七栗サナトリウムの内科を運営していきたいと思っております。どうかよろしくお願いいたします。

〈略歴は次ページ〉



内科医師 着任の挨拶

内科助教授 菊地 基雄

4月から松本美富士教授の下で内科診療に従事している菊地でございます。

七栗の素晴らしい自然、爽やかな環境に感動しております。本院に着任前には、約12年間名古屋市厚生院で高齢者医療に携わって参りました。

名古屋市厚生院は急性期一般病棟、介護療養型病床、介護福祉施設、養護老人ホーム、救護施設からなる複合福祉施設です。最近の3年間程は名古屋市健康福祉局にて、医療保護行政にも従事させていただきました。先月号で医療人としての心構えを説かれてみえましたが私も当院を支える多くの方々とともに共に研鑽し、傾聴することで、より良い医療を目指していく所存です。私は日本内科学会、日本老年医学会、日本リウマチ学会、日本血液

学会から専門医として認定され、本年は米国内科学会の上級会員に昇格させていただきましたが、今回着任にあたり私の経験が当地域の高齢者医療に少しでも役立てればと存じます。 よろしくお願い致します。



内科医師 松浦 健太郎

2006年4月1日より、内科に赴任いたしました。3月までは、名古屋第二赤十字病院に4年間、消化器内科医として勤務していました。当院は非常に高齢者が多く、疾患の特性も異なる他、内科全般の広い知識を必要とすることを実感しております。以前は急性期疾患、消化器疾患を中心に診て

きたので、この七栗サナトリウムで内科全般について勉強し直し、この素晴らしい環境のもと、医療の原点に戻り、研鑽を積んでいく所存でございますので、ご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



略歴

2000年 名古屋市立大学卒業 名古屋市立大学第二内科臨床研修医

2002年 名古屋第二赤十字病院 消化器内科 2006年 藤田保健衛生大学七栗サナトリウム内科

〈松本教授の略歴〉

大阪市生まれ

1968年名古屋市立大学卒業

1972年名古屋市立大学大学院修了

1972年常滑市民病院内科

1974年名古屋市立大学第二内科助手・講師・助教授を経て、1998年豊川市民病院副院長、

2002年山梨県立看護大学短期大学部教授、2006年現職。

専門：膠原病リウマチ性疾患。患者会：痛風友の会、全国膠原病友の会、日本リウマチ友の会。

厚生労働省関係：免疫アレルギー疾患予防治療研究事業研究班員。

平成17年10月1日、七栗サナトリウムに診療情報管理室が新しく設置されました。場所は管理棟1Fの一番奥の部屋です。診療情報管理士が何の仕事をしているかというと、カルテの管理・整備・統計等を行っております。管理するものは、外来カルテ、入院カルテ、歯科カルテ、デイケアカルテ、ケアマネージャーカルテ、ケースワーカーカルテ、レントゲンフィルムを管理しており、当院では入院カルテ、外来カルテともに永久保存、レントゲンフィルムに関しては5年保存をしております。患者様やご家族様にカルテやレントゲンフィルムの開示をさせていただいたり、職員へのカルテの貸出も対応しています。少し詳しく説明しますと、退院された患者様のレントゲンフィルムの枚数が実際に撮った枚数と合っているかチェックをしたり、入院カルテを基準にそって順番に書類を綴じこみ、不備がある書類については医師や看護師などに不備の訂正を行い、次にそのカルテを見る人が見やすいようなカルテに仕上げます。また、診察や研究などでカルテの貸出依頼があった場合は迅速にカルテを用意し、貸出、返却を行い、ま

た次の貸出に備えて保管をしています。統計業務については、入院患者様の平均年齢や、平均在院日数を出したり、病名の統計については、「ICD-10」という病名にある決まったコードをつけ統計をとる方法を行っています。今後は電子カルテの導入も検討されております。カルテの開示等ご要望の際は診療情報管理室までお申し出下さい。



講演会報告

日時:平成18年3月3日 13時30分から15時
場所:雲出市民センター
演題:「転倒予防について」
講師:リハビリテーション部 作業療法士 登立奈美

津市南郊公民館寿大学の閉校式記念講演として当院広報委員会と協催で35名の聴講者がありました。



外来医師担当表

平成18年5月1日 現在

	月	火	水	木	金	土
内 科	松本教授	松本教授	菊池助教授	松浦医師	松浦医師	※交代制
外 科	東口教授	伊藤助教授	東口教授	村井医師	渡辺医師	伊藤助教授
リハビリテーション科	園田教授	鈴木助教授	岡崎医師	※2交代制	岡本医師	※3交代制

- ※1 内科土曜日は松本教授・菊池助教授・松浦医師が交代で診察します。
 ※2 リハビリテーション科木曜日は坂井医師・細川医師が交代で診察します。
 ※3 リハビリテーション科土曜日は山中医師・笛吹医師が交代で診察します。

講演会のご案内

七栗サナトリウム広報委員会では地域の皆様方との交流の一環として七栗サナトリウム地域講演会を行っています。
 今回は雲出地区寿大学講座(津市南郊公民館)と共催で下記の通り開催いたします。

日時:平成18年5月19日(金) 14時から15時30分
 場所:雲出市民センター 津市雲出本郷町1389
 講師:藤田保健衛生大学七栗サナトリウム 臨床検査部 井谷功典
 演題:「健康と臨床検査」

全病棟インターネット接続サービスを開始しました。

これまでは1階の一部フロアでのみのサービスでしたが病室での使用も可能となりました。

注意:利用料金は無料です。パソコンは利用者様でご用意ください。無線LANでの接続となります。

七栗サナトリウムでは他の病院に先駆け携帯電話の使用、無線インターネット接続等患者様の療養環境整備を行っています。